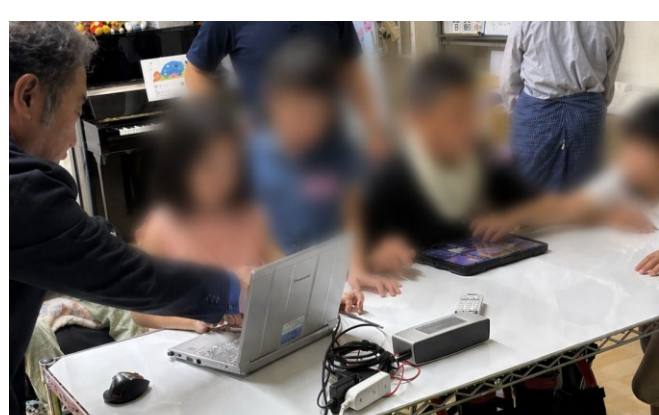


「みんなを笑顔に」

～ボーカロイド教育版を活用した実証実践研究～

学校下校後に児童が通う特定非営利活動法人海と空「ブルーワン」において、ボーカロイド教育版を活用した音楽活動を実施した。参加した児童は特別な支援を必要とする子ども達であり、通常の学習活動や一斉活動への参加が難しい場合も見られる。本実践では、音楽活動を通して興味・関心を引き出し、主体的な参加を促すことを目的とした。活動では、まずピアノによる曲名クイズや歌唱、手拍子を取り入れたリズム活動を行い、児童が楽しみながら音やリズムに触れる機会を設けた。続いて、自分の名前や身近な物の名前を言葉のリズムとして表現する活動を行い、それらの言葉をボーカロイドに入力して音を付けることで、言葉のリズムがフレーズとなり、さらにメロディへとつながることを体験できるようにした。児童は、自分の名前をボーカロイドが歌う様子に大きな喜びを示し、活動への関心を高めていた。また、手を動かすことが難しい児童の inputs を友達が手伝う場面や、順番を守って待つ様子も見られ、協力しながら活動する姿が確認された。本実践を通して、ICTを活用した音楽活動が、児童の興味・関心を引き出し、主体的な参加や他者との関わりを促す可能性が見受けられた。



■ブルーワンでの実践に向けて 野尻浩氏

私は音楽教育を専門としている立場ではございません。だからこそ、既存の枠組みや学習指導要領にとらわれすぎることなく、子ども達にとって学びがいのある、たのしく創造的なアート活動を探究できればと考えております。少しでも子ども達の笑顔や主体的な学びにつながる時間のお手伝いができたら幸いです。

野尻浩氏

流通経済大学ダイバーシティ共創センター所員（障がい学生支援担当）。専門は高等教育学、特別支援教育、認知科学。合理的配慮や障がい学生支援、インクルーシブ教育をテーマに研究と実践を行う。知的障がい児の協調学習や非言語的相互作用に関する研究に取り組む。

著書に『知的障害教育におけるアクティブ・ラーニング』（東洋館出版社）、『キャリア発達支援教育2』（ジアース教育新社）など。

■施設や特別支援学級での学びについて 石原 潔氏

私は陸上競技を専門としていたのですが、「競技」と呼ばれる多くは個人で行うものが多いです。個人種目なので結果は個人に返ってきます。

私自身、大学時代に箱根駅伝の練習中に体を痛めてしまって本番で走れなかった。その時は楽しいよりも苦しいという思いが先に立ちました。目標を達成出来たときに感じられるのが楽しさなのですが、「競技」はやっていて苦しい場面が9割、楽しい場面が1割くらいでした。その経験も踏まえ、指導するときは例えば「チーム」で行うリレーを取り入れたり、単に走るのではなくハードルを取り入れたり、子どもの頃遊んで駆けずり回っていた様な「ゲーム」感覚の楽しさを意識していました。

「楽しく学べる」ということがとても大切です。そのために教える側は正しい「理論」と明確な「結果」を習う側に提示できることが必要です。こうすればこうなるという気持ち、それが学ぶ意欲を向上させます。



■学校の授業で大切なこと・めざすかたちとは

体育や音楽を例にすると、これらの教科は走ったり、楽器を演奏したり、歌ったりと実技が中心となります。「自分だけでは見られない自分」をツールや技術を通して見ることは、学ぶ人にとっても大きな影響を与えてくれます。日々進化するICTに助けをもらいながら、子ども達が夢中になれる授業を作っていってほしいと考えています。

私が授業作りで大切にしてきたポイントに、「目に見える（聴ける）」という「見える化」があります。「自分だけでは見られない自分」をツールや技術を通して見ることは学ぶ人にとっても大きな影響を与えてくれます。

今の子ども達は生活の様々な場面でICTに触れる機会があり、とても強い興味・関心をもっています。しかしICTを「生きていくための道具」として使えるようになるかどうかは、ICTの活かし方について学べたか、そこに大きく左右されます。遊ぶためのゲーム機としての利用だけでは足りないのです。

だからこそICTは「複雑にならない」ことが大切だと考えています。子ども達がゲームに夢中になれるのもやはり簡単に触って遊ぶことができるからです。ICTを身に着けるにあたって、「触って楽しい＝楽しく学べる」という感覚が必要です。「これって面白いじゃん」って直感的に思ってもらえるICTは必ず浸透し、「楽しく学ぶ」ことは学ぶ意欲を振り起こします。そのための試作や実証研究にはとても大きな意義があると私は考えています。

石原 潔氏

大学を卒業後、中学校教諭として体育を36年間指導。その後管理職となり、学校長として3校に赴任。58歳のときに教育長となり12年間菊川市の教育長を務めた。教育現場におけるICTの重要性を早くから認識し、在任中は菊川市全教諭向けにパソコンを配備する等、校務や授業におけるICTの普及と推進をリードした。

■学校・施設での活動（授業・研究）へのアドバイス 三輪直司氏



学校や施設における活動の中で、子ども達が「楽しく学べる」ということはとても大切なことです。実際に日々様々な研究や実践が行われています。しかし実際の現場ではそれだけでは足りない部分もあります。「楽しく学べる」ことに加え、私が教育現場の活動で大切にしていることは学び方を学ばせ成長を促す「教え」資質と能力を「育む」ことの実践です。

教師として感覚的に必要だと感じることを授業で取り入れるだけではなく、批判的思考や論理的思考による「根拠」をもって授業に必要なことを考え、実践することの大切さを教師や子ども達に示しています。

そのためには、次期学習指導要領の構成の基本となるであろう、「深い学びの実装」「多様性の包摂」「実現可能性の確保」から外れないことが大切です。これらの基本となる考え方を連動させることで、子ども達の「楽しい学び」が「深い学び」へ続いていくように意識し、校長として教師一人一人に伝えてきました。

具体的な取り組み例として「仮説検証型」の授業研究があります。仮説や指導方法を検討する時点から「子ども達にはこうなってほしい」「こういうことができるようになってほしい」などの成果や結果といった具体的な姿を見据えるだけでなく、そのためにどんな手立てが必要でどのように教えてあげるか、また活動後の検証では今後どのように接し育んでいくかを考えられるようになります。

これこそ私が大切にしている「教え・育む」ことの実践です。指導者が「教え・育む」ことで、結果子ども達が「楽しく学べる」ように活動をしてほしいと思っています。この活動を実践してくれた先生のことは、必ず子ども達の記憶にとどまると思います。そして次世代の教師と子ども達にもこういった関係が構築されることが私の最高の理想です。

三輪直司氏

大学卒業後、教諭として社会科を担当。静岡県教育委員会義務教育課・静岡教育事務所、静岡大学教育学部附属島田中学校でも勤務した。学校長としては掛川市立大須賀中学校及び掛川市立中央小学校に勤務。在任中は小笠校長会及び掛川市校長会の副会長や掛川市教育委員会情報化推進リーダーとして、ICTの利活用や整備計画の立案・統轄及び教師の働き方改革推進を行った。

現在は、初任者研修拠点校指導員を掛川市内の中学校に勤務する側ら、「静岡前向き授業づくりネットワーク」の代表としてこれからの授業のあるべき姿についての研究および専門家の立場からの助言、現役教師への指導・アドバイスを積極的に行っている。

■実証実践研究推進にあたり

青山学院大学の益川弘如教授は、教育学を専門に、協同学習や学習科学の視点から、学びの質的向上と教育実践の改善に関する研究に取り組まれています。理論と実践を往還する研究スタイルを特徴とし、教育現場に根ざした課題に対して、エビデンスに基づく具体的な示唆を提示されている点に大きな特長があります。また、学校現場や教育関係者との連携にも積極的に取り組み、実践的かつ再現性の高い知見の発信を通じて、多くの教育現場に影響を与えてこられました。

主な著書に『学び合いの授業づくり』『協同学習がつくるアクティブ・ラーニング』に加え、『AIと仲間と学び合う生成AI×対話×仲間＝新たな学びの領域へ』などがあり、協同的な学びと先端技術を掛け合わせた実践的知見は広く注目を集めています。本実証実践研究を推進するにあたり、研究主題や活動内容について多くのご示唆とご指導を賜りました。ここに深く感謝申し上げます。

今後更により意味のある研究となるよう、ご指導よろしくお願いたします。

■より良い環境づくりに向けて

様々なシステムが混在する教育現場ですが、授業作りという基本に立ち返ることでより良い環境を提案出来るのではないかと認識しております。

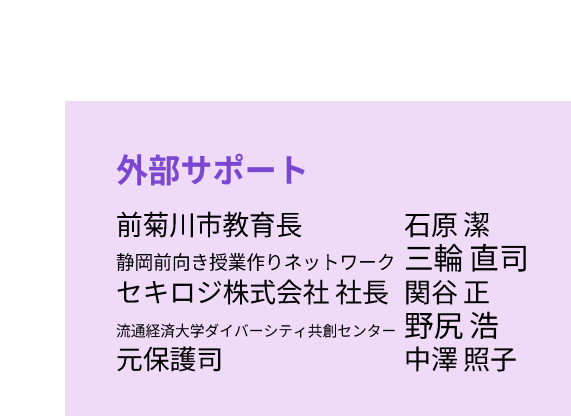
弊社、社是でもある「創」を主眼に、わたしたちが創る道筋が教育現場の皆様のお役に立つことを祈念しております。

万全を期して臨む所存ですが、引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

株式会社高文事業開発本部 本部長 田村 吉広

STEAM理念を取り入れた学校づくり

※STEAM教育とは「科学・数学等の基盤を土台としつつ、感性や創造性（Art）を働かせて新たな価値を創出する教育」
※S（科学）、T（技術）、E（工学）、A（芸術・リベラルアーツ）、M（数学）



■実証実践研究にご指導・ご協力いただいている皆様

青山学院大学教授
前菊川市教育長
静岡前向き授業づくりネットワーク代表
流通経済大学ダイバーシティ共創センター
元保護司
特定非営利活動法人海と空

益川弘如様
石原 潔様
三輪直司様
野尻浩様
中澤 照子様
ブルーワン様

静岡教科書株式会社様
TOPPAN株式会社様
株式会社ミライム様
株式会社高文様
NEC静岡ビジネス株式会社様
セキヨジ株式会社様